# 栗東市商工振興ビジョン ロードマップ (案) 第2章 新旧対照表

新

## 全般的な変更について

- ●計画年次の見直しについて開始年度をH25からH27に変更
- ●おもな実施主体を2主体から4主体へ細分化

#### 重点施策1

#### 1 - 2

(1)

- ●街路樹、街路灯の維持・保全などを事業者、関係団体や行政との協働・<u>連帯</u>により実施
- ●安養寺地区計画の見直しを進める
- ●「モデル創造方式」を用いた地区計画の柔軟な運用を進める
- ●「安養寺景観まちづくり協議会」を<u>地区</u>活性化<u>における中心の場として発展</u> させる

(2)

●地区計画を押さえ直す

## 1 - 3

(2)

- ●市内各所に対し、食品や消耗品の納入について、地元企業の活用を要請
- ●小売業者からの要望を受けながら、具体的にニーズにこたえる方法を検討<u>す</u>る

## 1. 重点施策1

#### 1 - 2

(1)

- ●街路樹、街路灯の維持・保全などを事業者、関係団体や行政との協働・<u>連携</u> により実施
- ●安養寺緑のわがまち計画の運用を進める
- ●安養寺景観まちづくりガイドラインの運用を進める
- ●「安養寺景観まちづくり協議会」を<u>地域</u>活性化<u>の中心として持続継続的に取り組む</u>

(2)

●地区計画の課題抽出

## 1 - 3

(2)

- ●市内事業所に向け、食品や消耗品の納入時における地元企業の活用を要請
- ●小売業者からの要望を受けながら、具体的にニーズにこたえる方法を検討\_

旧	
	新
●「地場産品コーナー」を設置場所や設置産品を検討 <u>する</u>	●「地場産品コーナー」を設置場所や設置産品を検討
1-4	1-4
(1)	(1)
●各事業所の強みや特徴を把握し、 <u>データベー</u>	●各事業所の強みや特徴を把握し、 <u>データベース化</u>
1-5	1-5
(2)	(2)
●関連事業者による検討を <u>開</u>	■関連事業者による検討を <u>開始</u>
重点施策 2	2. 重点施策 2
2-1	2-1
(1)	(1)
●どういった方向性で交流するのか検討	● 方向性の検討
<ul><li> ●どのように展開していくのか検討し、中心となるイメージを決定</li></ul>	●中心となるイメージを決定
<ul><li>●どういった切り口で街自慢を行うのか検討</li></ul>	●街自慢運動の方法を検討
●個性的な企業やユニークな製品・サービス <u>をメディアでとりあげてもらえる</u>	●個性的な企業やユニークな製品・サービス <u>の情報発信に向けたメディアへの</u>
ように、市から働きかける	働きかけ
(2)	(2)
●すぐれた品質の製品を生産や品質の高いサービスを提供している中小企業の	●すぐれた品質の製品を生産や品質の高いサービスを提供している中小企業の
認証制度の設立へ <u>向けて制度設計に入る</u>	認証制度の設立へ <u>向けた制度設計</u>

旧	新
(3)	(3)
●具体的にどういったことに取り組むのか検討	●事務局体制の検討
<ul><li>●賛同する事業者によって最初は小規模なところからでも始める</li></ul>	●試験的な運用を実施
<ul><li>事業が軌道にのって規模が拡大した場合、調整にあたる事務局を設置</li></ul>	<ul><li>●規模拡大に応じた事務局機能のあり方を再検討</li></ul>
2-2	2-2
(1)	(1)
●混雑の <u>ない</u> 手原駅と一般車が入りにくい渋滞しやすい草津駅との違いをPR	●混雑の <u>少ない</u> 手原駅と一般車が入りにくい渋滞しやすい草津駅との違いを
	PR
●企業送迎バス等の手原駅利用を増加 <u>させる</u>	●企業送迎バス等の手原駅利用の増加 <u>を図る</u>
●まずは地域住民との交流を目的としたイベントを実施	●地域住民との交流を目的としたイベントを実施
<ul><li>●地域住民が中心となったイベントに移行していく。地域住民に運営に係って</li></ul>	●地域住民が運営主体へ移行
<u> もらう</u>	
●まずは簡単なもので地域住民との交流を目的とする	●地域住民との交流を主目的として実施
(2)	(2)
●小規模店舗の利点を <u>生かした</u> 事業を検討 <u>する</u>	●小規模店舗の利点を <u>いかした</u> 事業を検討
●無料休憩所の設置や送迎サービス、購入したものを自宅に届けるサービス、	●無料休憩所の設置や送迎サービス、購入したものを自宅に届けるサービス、
子供の一時預かり等、 <u>どういったことが可能なのか</u> 検討	子供の一時預かり等
<ul><li>■具体化・実現可能なものから優先順位をつけ、できるものから実施していく。</li></ul>	●具体化・実現可能なものから優先順位をつけ、できるものから実施
●住民のニーズにそって、営業日時の <u>変更が可能かどうか</u> 検討	●住民ニーズにそって営業日時の <u>変更可能性の</u> 検討
(3)	(3)
● <u>計画した施設にみあった</u> 空間・空き店舗の調査	●空間・空き店舗の調査

旧	新
<ul><li>●社会福祉法人と共同で、福祉施設利用者(障がい者、高齢者)が働くカフェ</li></ul>	<ul><li>●社会福祉法人と共同で、福祉施設利用者(障がい者、高齢者)が働くカフェ</li></ul>
を設置することを検討	等の設置検討
●地域の人々や <u>本</u> 市内での <u>企業や店舗や</u> 店舗経営を目指す若者による地域コミ	●地域の人々や市内での <u>起業や</u> 店舗経営を目指す若者による地域コミュニティ
ュニティに立脚したビジネスサポートを充実 <u>させる</u>	に立脚したビジネスサポートの充実 <u>を図る</u>
2-3	2-3
(1)	(1)
項目●子ども連れや高齢者などが階層や消費実態に応じた製品・サービスの提	項目●子ども連れや高齢者など階層や消費実態に応じた製品・サービスの提供
供 <u>へ向けて</u>	
●子ども連れや高齢者、障がい者が安心して購買できる状況づくり <u>をどのよう</u>	●子ども連れや高齢者、障がい者が安心して購買できる状況づくり <u>に向け方策</u>
に実施するか検討	<u>を検討</u>
■どういった状況づくりからはじめるのか優先順位をつける ■ ctrtc	
<u>●実施</u> 「●ニーズを具現化するための方法などを検討	● <u>優先順位をつけ試験的に実施</u>
<u>ーースを具現化するための方法などを検討</u> ーーズの高いものから実施する。	<ul><li>●ニーズを具現化するための方法を検討し、ニーズの高いものから実施</li></ul>
●地域課題を解決できる商店街・事業者郡の実現を目指す	●地域課題を解決できる商店街・事業者連携の実現を検討
(2)	(2)
<ul><li>●住民の意識を具体的に把握するためにどのような調査や懇談会を実施するの</li></ul>	○調査方法や懇談会の実施手法の検討
<ul><li> 動力象者が参加しやすいような調査や懇談会を企画し、実施</li></ul>	●調査や懇談会を企画し、実施
2-4	2-4
●事業の実現の可能性について、検討し、このうち複数の成功を目指した取組	<ul><li>●将来的に魅力ある街として発展するための大規模プロジェクトについて検討</li></ul>
みを15年間程度を視野に入れて進める	

ΙĦ	新
重点施策 3	3. 重点施策 3
3-1	3-1
(2)	(2)
<ul><li>●現在の市民や周辺都市部住民の「自然とのふれあい」状況の把握</li></ul>	●市民や周辺都市部住民の「自然とのふれあい」状況の把握
(3)	(3)
●どういった切り口で地域のイメージを発信するのか検討	●地域イメージを発信する <u>方策の検討</u>
●いくつかのイメージに絞った後、メディアに情報発信	●イメージ戦略を立案し、メディアに情報発信
3-2	3-2
(1)	(1)
●「安心・安全」をキーワードとした商品開発 <u>を行う</u>	●「安心・安全」をキーワードとした商品開発
●「安心・安全」 <u>である理由</u> を消費者に <u>アピール</u>	●「安心・安全」を消費者に <u>PR</u>
<ul><li>●商品のイメージアップをはかることにより、ブランド力を高める</li></ul>	●商品のイメージアップにより、ブランド力を高める
●「安心・安全」の信頼を定着させるため、メディア の働きかけや市内外へ	●「安心・安全」の信頼を定着させるため、メディアへの働きかけや市内外へ
のアピールなどにより統一ブランドの広報を行う	の <u>PR等のシティセールス</u> 戦略を策定・実施
●商品などの販売促進のために、利便性を生かした取組みの検討	●商品などの販売促進に向け、交通優位性をいかした取組みの検討
(2)	(2)
● <u>名神のインターチェンジ</u> や日本中央競馬会栗東 <u>トレーニング・センター</u> の知	●名神栗東ICや日本中央競馬会栗東TC等の知名度をいかすための分析
名度を <u>生かすべく、それぞれのイメージや利点を整理</u>	
● それぞれをどのように事業に生かすのか多様な角度で検討	● <u>事業化に向け</u> 多様な角度で検討
● それぞれを生かした事業を具体化させる	● <u>事業化</u>
●企業が下支えとなって、市民が中心となってイベントを開催	●企業 <u>と市民の協働・連携による</u> イベントを開催

旧	新
一般施策	4. 一般施策
(1)	(1)
●信用保証料の一部補助 (平成25年度より実施)	●信用保証料の一部補助
● <u>条例</u> 改正等	<b>●</b> 規則改正等
(2)	(2)
●関係支援機関と連携し、相談支援体制の整備及びセミナー開催や専門家派遣	●関係支援機関と連携し、相談支援体制の整備及びセミナー開催や専門家派遣
<u>を行う</u>	
●経営や事業活性化に必要なノウハウの取得のため、事業主向けの実践的な研	●経営や事業活性化に必要なノウハウの取得のため、事業主向けの実践的な研
修を充実 <u>させる</u>	修を実施
(5)	(5)
●どういった企業を誘致するか検討	●誘致企業の検討
●本市の産業基盤及び住居環境をより増加させる企業の誘致	●企業誘致の推進
(6)	(6)
→ 業種をこえた交流活動や先進的な市街地域との交流を促進	
● <u>先進地の視察</u>	
●先進地との交流	<ul><li>●業種をこえた交流活動や先進的な地域の視察と交流を促進</li></ul>
●先進地の視察	
◆先進地との交流	
(7)	(7)
●街道や日本中央競馬会栗東 <u>トレーニングセンター</u> など、 <u>本市にある</u> 地域資源	●街道や日本中央競馬会栗東 <u>TC</u> など地域資源を <u>いかした</u> 各種観光事
を生かした各種観光事業の展開	業の展開
●他府県のイベントにも参加し、本市が持つ観光資源のPRを積極的に行うこと	●他府県のイベントにも参加し、本市が持つ観光資源のPRを積極的に行うこと
により、 <u>本市の</u> 経済活性化に努める	により経済活性化に努める
● <u>旧</u> 東海道及び <u>旧中仙道</u> の資源を活用	●東海道及び中山道の資源を活用

旧 新 全般的な変更について ●計画年次の見直しについて開始年度をH25からH27に変更 ●おもな実施主体を2主体から4主体へ細分化 ●到達度及び実績にH27年実績を追加 ●各項目表の下に前半期ロードマップ解説版(案)の欄を追加 2 2 (1)(1)●小売業者からの要望を受けながら、具体的にニーズにこたえる方法を検討す ●小売業者からの要望を受けながら具体的にニーズに応える方法を検討 る。 (2)(2)●住民の意識を具体的に把握するためにどのような調査や懇談会を実施するの ●住民の意識を具体的に把握するためにどのような調査や懇談会を実施するの か検討。(繰り返し何度も実施する) か検討 (3)(3)●消費者ニーズをつかんだうえで、市内小売業者の強みを生かすような事業を ●消費者ニーズをつかんだうえで、市内小売業者の強みを生かすような事業を 検討する。 検討 ●具体化・実現可能なものから優先順位をつけ、できるものから実施していく。 ●具体化・実現可能なものから優先順位をつけ ●市内各所に対し、食品や消耗品の納入について、地元企業の活用を要請。 ●市内各事業所に対し、食品や消耗品の納入について地元企業の活用を要請 ●大手企業の工場、物流施設、学校、病院、福祉施設などに市内及び近隣市か ●大企業者の工場、物流施設、学校、病院、福祉施設などに市内及び近隣市か らの調達比率を引き上げてもらう らの調達比率引上げを要請 ●市の全調達に占める市内から調達の比率を平成25年度より10%引き上げ ●市の全調達に占める市内から調達比率を平成25年度比率10%の引上げ る。

ΙΞ	新
<ul><li>(4)</li><li>●優先順位をつけ、実施していく</li></ul>	(4) ●優先順位をつけ実施
3 (1)	3 (1) ●中小企業の認証制度の <u>確立に向けた制度設計</u> (2) ●「安心・安全」 <u>などのブランド価値を</u> 消費者にアピール  4 (1) ●地域住民が主体的に運営に関わる体制づくり
5 (1) ●他府県のイベントにも参加し、本市が持つ観光資源のPRを積極的に行うことにより、本市の経済活性化に努め	<ul><li>5 (1)</li><li>●他府県のイベントにも参加し、本市が持つ観光資源のPRを積極的に行うことにより、本市の経済活性化に努める</li></ul>